

フィンドレー大学への交流留学 月例報告書12月分

今月の活動報告です。12月は約1ヶ月の冬休みを利用してアメリカ各地を回る旅行に行きました。そこで私は多くの人に出会い、「楽しかった」だけでは終わらなかったとても学びのある旅行ができました。

いちばん記憶に残った出会いは驚くことに高校時代の友人との“再会”でした。ロサンゼルスにてグリフィス天文台行のバスを待っている途中、高校時代の友人に似ている人がいるなぁと思いちらりと顔を覗いてみればまさかの本人で、約4年ぶりの再会でした。そこから思い出話に花が咲き、高校を卒業してからのこと、他の友達の近況のことたくさん話しました。そして、次の話題はやっぱり「これからのこと」です。大学2年生の終わりからはじまったコロナ渦で「このまま大学生活を終わらせたくない」という思いから私は留学するという選択肢を取りました。その中には「このまま就職してもコロナでいい就職先なんかないし。」という諦めや逃げの気持ちも含まれていました。しかし、友達の話を聞くと外資系コンサルの有名企業に就職を決めてから、入社前のプログラムに参加、半年英語の勉強し半年現地で働くという私とは違うちゃんとした道を進んでいました。他の友達も外交官になるために準備している友達や、海外での就職を決めた友達など私が就活から“逃げて”いる間にずいぶんと先のところまで行ってしまっているのだと知り「自分は何をやっているのだろう…。」という気持ちになりました。落ちこぼれだった高校時代に散々味わった自分だけ取り残されていくこの感覚に久しぶりにガツンと頭をたたかれ、「このままじゃだめだ」と強く決心しました。これからのあと4ヶ月の留学生生活をどう過ごしていくのか改めて考えるととてもいいきっかけとなる出来事でした。

他にも日本が好きな韓国人やアメリカで看護師として働く韓国人、旅行のプランのアドバイスをくれたインド人などいろんな人に出会い、いろんな考えに触れました。そこで英語はコミュニケーションの道具であるということに改めて実感しました。日本にいても英語は勉強の一つとして点数をとるものとして考えてしまいましたが、海外にいても母国語が違って英語を通じて自分の言いたいことを伝える手段であり、相手の言いたいことを理解する手段なのです。大学を飛び出して旅行をしたことで英語を知っていると世界が広がるという感覚を強く実感しました。この感覚を忘れずにもっともっと英語ができるようになりたいと思いました。

最後に、今回の旅行は約18日間、ラスベガス・アリゾナ・ロサンゼルス・サンフランシスコ・ニューヨーク・ワシントンD.Cという欲張りセットの旅行でした。実際に足を運んでみるとテレビや写真では写せない景色がありました。いいところばかりではありません。道端で生活するホームレスの人々、地下鉄の怪しげな雰囲気、怒号と大音量の音楽が鳴り響くサンフランシスコの夜など嫌な部分もたくさんありました。それでも、日本では味わうことのできないグランドキャニオン、ホースシューベントやロウアーアンテロープキャニオンの自然の雄大さに圧倒されたり、ゴールデンゲートブリッジを歩いてその大き

さに驚いたり、サンフランシスコの美しい街並みをケーブルカーや船から眺めたり、ロックフェラーセンターでのスケートはまるで映画の主人公になった気分だったりといいところも悪いところも全部含めてアメリカなのだと感じました。そして、この旅行を経験することができたのは支えてくれる家族や交流留学をサポートしてくださっている大学のすべての方のおかげだと思っています。それから、留学を決めた時から独学で英語を勉強してきたことや（再会した友達は毎回英語のテストで赤点ばかりだった私が留学に来ていることに驚いていました。）留学資金を貯めるために週5、6日でアルバイトをしていた自分の過去が全部今につながっているのだと実感しました。勿論、みんながいい就職先を見つけ先に行っている中、私にはまだ何もないことに焦りを感じます。それでもこの留学というみんながみんな得られるわけではない大変貴重な機会、時間を余すことなく使っていきたいと思います。そして、この経験がこれからの自分の人生の糧となるように努力していきたいと思います。



12月25日にロックフェラーセンター前でスケートをしました。大学生になってからクリスマスはずっとアルバイトしかしていなかったので、今年は一生涯の思い出に残るクリスマスになりました。



NBA の観戦に行きました。お目当ては八村塁選手です。観客の盛り上がり方がまさしくアメリカ！で面白かったです。会場で買ったポップコーンとジュースで18ドル（約2,500円）でした。高すぎです…



サンフランシスコで食べた名物のクラムチャウダーボウルはクラムチャウダーの部分が少なくほぼパンでした。思っていたのと違いましたが、これも行ってみなければ分からなかったことの一つなので旅行の醍醐味だと思いました。

フィッシャーマンズワーフのシンボルにもなっているダンジネスクラブは最高に美味しかったです。